

令和3年度 第1回学校評議員会

日時 令和3年6月7日(月) 17:25~18:25
場所 本校 会議室
出席者 学校評議員4名、校長、副校長、事務長、総務主任、教務主任、生徒指導主事、保健主事、進路指導主事、記録1名

委嘱(学校長)

学校評議員に関する規程(副校長)

1 開会のことば(事務長)

2 校長あいさつ

- ・ご多忙中のところご参集いただき感謝申し上げます。
忌憚のないご意見をお願いしたい。

3 自己紹介

4 令和3年度学校経営計画について(学校長)

生徒の状況(学級数、男女比、部活動)、教育課程、学校行事等について説明。総合的な探究を軸として魅力ある学校づくりを推進していきたい。探究活動として1学年は碑の記憶、2学年は復活の記憶、3学年は記憶の伝承とふるさと探究と高校生議会という枠組ができてきた。次年度は冊子にまとめて小学生に出前講義をしたいと考えている。他校との交流活動も積極的に行っている。昨年度締結した山田町との連携協定に基づき、町と連携した行事も計画している。

5 令和3年度重点目標について(各課主任)

- (1) 総務課 進路指導課とタイアップしてPTA総会を計画していたが直前に書面審議に変更。集約は100%。同窓会活動は社会情勢をみながらやれる範囲でやる。
- (2) 教務課 学力向上を最優先とし学ぶ姿勢を身につけさせたい。地域の中の学校という意識をもち、ボランティア活動や探究活動にも力を入れる。現在定期考査を控え、学習に向かっているところである。各機関と連携し、学びを深めさせていきたい。
- (3) 生徒指導課 生活三大目標を掲げ、教員の共通理解のもと指導していく。生徒をサポートしながら自主的活動を促し生徒会活動と部活動を活性化していく。感染症対策を講じながら生徒会行事をやっていききたい。いじめアンケートは年2回の予定であったが、早期発見・未然防止の観点から年4回へ変更。情報モラル講習会は7月上旬を予定しトラブル防止に努めていく。交通安全教室は5月の予定であったが延期しているところである。
- (4) 保健厚生課 保健教育の充実として感染症対策の徹底を図っていく。本校生徒は虫歯が多いため昼休みの歯磨き指導を進めていく。こころのサポートの充実として少人数のメリットを活かしスクールカウンセラー(SC)と連携していく。教員間の情報交換会も定期的で開催している。
- (5) 進路指導課 生きる力を身につけさせていきたい。「進路意識の高揚」は早期からの意識付けをめざしている。「進路相談・情報提供の充実」は多岐にわたる進路希望に対しきめ細やかな指導をしていきたい。「進路目標を達成する実力の育成」は管理職を含め手厚くケアしていく。「進路情報提供の拡充」としてコロナ禍での進路活動をできるところからやっていく。昨年度開催できなかったインターンシップも事業所を絞って検討しているところである。
- (6) 図書視聴覚課 図書委員、図書館便りを中心に活動していく。町の協力をいただき芸術鑑賞会も6月末に開催予定である。
- (7) 教育ネットワーク運営管理課 教育環境を充実していきたい。HPでの発信も積極的に行っていく。
- (8) 1学年(説明省略)
- (9) 2学年(説明省略)
- (10) 3学年(説明省略)



(11) 事務室 数値目標を掲げ光熱水費・消耗品費の削減に努めていく。施設・設備の充実を図る。

6 意見交換

(中村評議員)

- ・HPは文字が重なるなど若干見づらい部分が残っている。
- ・新聞等で山高の記事を見ることも多いが、チラシ的なものでも発信できないか。

(副校長)

- ・HPは点検作業をしているところなので時間をいただきたい。チラシ的なものということで広報にはさみこむものや各家庭で見る機会のある回覧板の利用も視野に入れ考えていきたい。

(校長)

- ・HPは作成ソフトが古いので不具合が起きる。現在新しいソフトを購入できるよう進めているところである。

(花坂評議員)

- ・前回公務員模試の提言をしたところ今年度の計画に入っているので感謝しているところである。一人でも二人でもチャレンジしてほしい。
- ・各学年の重点目標に資格取得の促進が挙げられているがとてもよいことと思う。取得すれば自信につながり成功体験となり前向きになれると思う。
- ・高校生議会等は新聞記事でたくさん取りあげられていた。東京学芸大と船越小のタイアップや田野畑の道の駅での田野畑中学校のブース等を参考にし、議会での提案を実行に移したり発信していく方策も必要と思う。

(進路指導主事)

- ・模擬試験は今年度4種類準備している。昨年度末に役場職員による出前講座を実施し啓蒙活動も行っている。
- ・探究活動のアウトプットとして地域おこし協力隊とのタイアップも考え中である。

(佐々木評議員)

- ・中学生は現在317名であるが5年後は280名前後になる見通しである。生徒の3分の1は山田高校への進学となってほしい。そのためには多様な進路希望を叶えてほしい。
- ・中高連携として教職員は交流の場があるが、生徒同士の交流は現在ない。山田中の生徒と山田高の生徒の意義のある交流の場をつくりたい。

(副校長)

- ・関係部署で協議し前向きに検討していきたい。

(黒澤評議員)

- ・多岐にわたる資料に敬意を表したい。
- ・生徒数の減少が最重要課題と思われる。
- ・保健厚生課のこころのサポートの充実でSCの配置状況を知りたい。

(保健主事)

- ・地域巡回型のカウンセラーで月1回本校で対応していただいている。

(黒澤評議員)

- ・授業料滞納世帯の数を教えていただきたい。就学支援の担当をしたことがあり、進学等に影響することもあるのでお聞きしたい。

(事務長)

- ・就学支援金制度の利用で授業料滞納世帯はない。諸会費滞納世帯は1件あったが、前年度の諸納金の返金を充当したので今のところ滞納世帯はない。

7 その他 なし

8 校長謝辞

- ・様々な提言をいただき感謝申し上げます。
- ・情報発信の重要性を感じた。様々なチャレンジによる自己有用感、多様な進路希望の達成、中高生の交流、生徒数の減少への対応として魅力を発信していきたい。
- ・与えられた課題をクリアし、地域に貢献しながら自己有用感を高め、1人1人の取り組む姿勢が地域の関心と呼び、地域に残したい学校であり続けられるよう今後も頑張っていきたい。
- ・学校評議員の方々のさらなる協力をお願いしたい。

9 閉会のことば (事務長)

